

公約の達成状況と今後の財政の見通しは



自由民主党議員団
田中 正繁 議員

新費用などの増加も見込まれ、今後も厳しい状況が続くと思われる。アクションプログラムの見直しに合わせて財政計画を見直していく。

た移住フェア、福岡で西日本新聞社が開催した交流フェアなどに参加し、PRを行った。今後、筑後田園都市推進評議会として筑後の暮らしフェアの開催を計画している。

災害時と緊急時対策

市長の政治姿勢

問 公約の達成状況と今後の実現性また職員の意識改革は。

答 市長就任から、まちづくりの推進と市民福祉の向上に全力で取り組んできた。

市政公約に7つの政策を掲げ、まちづくり総合プランや総合戦略を策定し、予算編成では新規事業の創設や既存事業の拡充を図ってきた。次の100年に向け、人口減少に歯どめをかけ、あらゆる世代が成長できるまちを実現できるよう取り組んでいく。

職員の意識改革は、自ら積極的に打って出て、住民の方々へ働きかけていく努力を惜しまない行動と、双方向のコミュニケーションを実践していくことを求めている。

問 今後の財政の見通しを聞きたい。

答 一般会計は、普通交付税の予算割れと相次ぐ災害対応など、財政調整基金を取り崩さざるを得ない非常に厳しい状況にある。高齢化の進展に伴う社会保障費の増加と老朽化した公共施設の維持改修更

問 公共施設を減らしていく中で、学校跡地の利活用についてはどうなっているのか。

答 地域住民の意見等を参考に公共施設の総量抑制、地域防災の観点や新たなまちづくりへの対応、財政計画との整合など様々な視点で検討していく必要があると考える。具体的内容は、整理がついたものから順次示していく。

シティプロモーションの推進

問 現在の進捗状況と今後の進め方はどう考えているか。

答 フェイスブックに大牟田ちょうどよ課、ユーチューブにほっとシティおおむたを開設し、世界遺産や大蛇山まつり等の地域の魅力やまちづくりの情報を積極的に配信している。また、FMたんとは、アプリで地域に関係なく放送を聞くことができる。市制100周年をまたとない機会として積極的に情報発信したい。

問 移住・定住促進のための方策はどう考えているか。

答 市外の方に本市を知ってもらうために、大阪でふるさと回帰支援センターが開催し

問 今年の災害についての所見と、今後の対策を聞きたい。

答 多くの災害に対し、避難所開設の遅れや、情報共有が不十分等様々な課題が明らかになった。避難所の開設基準の見直しや福祉避難所として新たに11法人と協定を締結するとともに、災害対策本部内の連携訓練の実施や企業局の寒波対応マニュアルの見直しも行った。今後、地域防災計画の見直しを検討していく。

問 緊急時における狭隘（狭い）道路対策を聞きたい。

答 消防では、事前に道路状況調査、水利状況の確認を行い、防御計画を作成し火災時の体制に備えている。救急では、救急車が可能なところまで進入し、ストレッチャーまたは布担架等で対応している。



ストレッチャー



布担架